

授業科目名		担当講師名		対象学年	
看護学概論		大庭 梨香		1 年生	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室	前期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	看護の概念・機能と役割・対象 健康の定義 看護理論 法的責任				
到達目標	看護の概念及び看護の機能、看護の対象について理解を深め、それをもとにして自己の看護観・人間観を発展させる。保健医療における看護の役割を認識する。あらゆる健康上の問題をもつ対象への看護実践の基礎となる。				
事前学習	事前学習課題：看護とは・看護師の魅力／ナイチンゲール・アメリカの看護／看護理論家についてレポート				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	授業計画および評価について 協同学習の授業方法 看護の定義と看護師の役割 看護の責務 (事前学習課題：看護とは・看護師の魅力)
2・3・4	看護師としての将来の夢・看護の歴史と看護教育制度の変遷 教育の形態 (事前学習課題ナイチンゲール・アメリカの看護)
5・6	看護の対象 人間の成長と発達・発達課題
7	健康の定義 ライフサイクルと健康
8	専門看護師・認定看護師について
9	看護技術の特徴・看護技術の基本原則 看護技術の実践に求められる能力
10	看護理論と看護理論家の理解 理論の範囲 (事前学習課題 看護理論家について)
11	看護理論の変遷
12	看護実践の理論家 発達史
13	看護と経済 医療と経済 日本の医療保険制度
14	看護における倫理 職業倫理としての看護倫理 現代医療におけるさまざまな倫理的問題 倫理原則
15	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 看護学概論 医学書院 フロレンス・ナイチンゲール看護覚え書き 現代社
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
共通基本技術 コミュニケーション技術		脇田 真由美		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (20)	教室・実習室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	看護における・コミュニケーション・インフォームドコンセント・看護師の役割・看護倫理				
到達目標	看護におけるコミュニケーションの意義と方法を理解できる。 看護倫理について理解し看護者としての責任を自覚できる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	コミュニケーションの基本と構成要素
2	看護理論とコミュニケーション
3	自己理解・他者理解（偏愛マップを使って）
4	自己理解・他者理解
5	対人関係プロセスとしてのコミュニケーション
6	フィードバックレッスンリフレクション 傾聴
7・8	看護における人間関係成立のためのコミュニケーション 出会い 聴く 話す (演習) 初めての検査に不安を持つ患者とのコミュニケーション 患者とのコミュニケーション (演習)
9	医療者における信頼関係とコミュニケーション
10	言語障害のある患者のへのコミュニケーション 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 看護学生のための心理学 医学書院 患者―看護婦関係を学ぶロールプレイングを活用して 星和書店
成績評価の方法	医療安全と感染防止の技術を併せて筆記試験
備考	医療安全と感染防止の技術を併せて 1 単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
共通基本技術 医療安全		根本 洋子		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (10)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義				
学修内容	医療事故と看護事故 危険因子 ヒューマンエラー ヒヤリハット				
到達目標	1 医療事故の発生する要因を理解し、事故を回避するための基礎的知識を修得する 2 医療機関における組織的な安全管理体制への取り組みを理解する 3 看護職を選ぶことの重さと医療安全努力の責務を自覚する				
事前学習	医療事故の定義 看護事故の2種5群 間違いによる事故防止3ステップと予測への事故防止2ステップ				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	医療安全を学ぶことの大切さ 人はなぜ間違いをおかすのか「ヒューマンエラーについて」 事故がおこる原因 ～ 事例 ～から学ぶ ヒューマンエラーと医療事故 医療事故の現状
2	看護事故の構造 2種5群 間違いによる事故の防止3ステップ、危険の予測への事故防止2ステップ
3	医療安全とコミュニケーション
4	労働安全衛生上の事故防止 組織としての医療安全対策
5	リスク感性を磨く危険予知トレーニング
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践 医学書院 新体系看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ メヂカルフレンド社 医療安全ワークブック第3版 医学書院
成績評価の方法	コミュニケーションと感染防止の技術を併せて筆記試験
備考	コミュニケーションと感染防止の技術を併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
共通基本技術 感染防止の技術		根本 洋子		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (15)	教室・実習室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	標準予防策 感染経路別予防策 洗浄・消毒・滅菌 感染性廃棄物				
到達目標	感染成立の条件及び院内感染の基本を知り、看護師が感染防止のための実践を行うことの重要性を理解する 手指衛生・個人防護具の着脱・無菌操作を学び、正しく実践できる				
事前学習	感染成立の条件及び院内感染防止の基本 衛生的手洗い、個人防護具の着脱、無菌操作の手順、根拠と留意点				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	・感染防止の定義と発症、感染の成立過程 ・標準予防策の基礎知識 ・標準予防策の対策と実際 衛生的手洗い 演習
2	・感染経路別予防策（接触感染 飛沫感染 空気感染）の基礎知識 ・標準予防策の対策と実際 衛生的手洗い 演習
3	・洗浄、消毒、滅菌の基礎知識 ・感染性廃棄物の取り扱い ・カテーテル関連血流感染対策 ・針刺し防止策
4	個人防護具の着脱 無菌操作の技術演習
5	衛生的手洗い 個人防護具の着脱 無菌操作の技術演習
6 7	実技試験 （衛生的手洗い 個人防護具の着脱 無菌操作）
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院 新体系看護学全書Ⅱ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ メヂカルフレンド社 看護技術プラクティス 学研
成績評価の方法	コミュニケーションと医療安全を併せて共通基本技術の筆記試験
備考	コミュニケーションと医療安全を併せて共通基本技術の1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
日常生活援助技術Ⅰ 環境		糸 ふじ代		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (14)	教室・実習室	前期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	環境と健康の関係の理解、病床環境整備の意義と実際				
到達目標	環境整備の意義を理解し、環境整備が安全安楽に実施できる。				
事前学習	環境と健康との関係について事前学習提出 評価対象 (ナイチンゲール看護覚え書き参照)				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第1章 療養生活の環境 環境と健康との関係 病室の環境と調整 個室と多床室 一般病床と療養病床 温度・湿度、光と音、色彩、空気の清浄性とに、人的環境
2	病床について：ベッドの名称 取り扱い 病床環境のアセスメント
3	ベッドメイキングの実際 ① シーツの準備：たたみ方 下シーツの敷き方：三角コーナ ② 上シーツの敷き方 四角コーナー ベッドメイキング：クローズドベッド作成デモンストレーション
4	デモンストレーション：クローズドベッド作成 演習
5	臥床患者のシーツ交換デモ、演習
6	環境整備の実際
7	実技試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野□ 基礎看護学技術□ 医学書院、 新体系看護学全書 基礎看護技術Ⅱ メジカルフレンド社 看護技術プラクティス 学研 ナイチンゲール看護覚え書き 現代社
成績評価の方法	活動と休息と併せて筆記試験
備考	活動と休息と併せて1 単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
日常生活援助技術Ⅰ 活動と休息		山城 歩		Ⅰ年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1(16)	教室・実習室	前期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	体位・ボディメカニクスの原理の理解と活用・体位変換 移乗・移送・睡眠と睡眠障害				
到達目標	人間にとっての活動と休息の意義が理解できる。 安全・安楽・ボディメカニクスを活用とした体位変換、移動の技術ができる。				
事前学習	ワークシート(体験したことの感想や考え)				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	身体を動かさないとどうなっていくのか いろいろな体位を体験してみよう
2	実際に介助して動かしてみよう ボディメカニクス・体位変換・水平移動
3	実際に車椅子・ストレッチャーに乗って体験・経験してみよう 移動・移乗・移送の援助
4	睡眠と休息
5	技術試験デモンストレーション
6	技術試験 「体位変換・車椅子移乗・車椅子移送」
7	技術試験 「体位変換・車椅子移乗・車椅子移送」
8	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護技術プラクティス 学研
成績評価の方法	環境と併せて筆記試験
備考	環境と併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
日常生活援助技術Ⅱ 食事		糸 ふじ代		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (14)	教室・実習室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義				
学修内容・食事	健康と食事の意義、食事に必要な機能を理解し安全な食事援助がわかる				
到達目標・食事	・食事の意義と食事援助を行う態度を理解できる ・栄養と食行動のアセスメントができる ・食事援助の実際が理解できる ・経鼻経管栄養法の注入技術を修得できる				
事前学習・食事	栄養評価基準 BMI 水分出納 検査データー 咀嚼と嚥下機能				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	食事とは：食事を摂取する意義・食事行動・食欲の調整
2	栄養・食行動のアセスメント 栄養状態・摂取能力・嚥下機能・姿勢・環境
3	食事療法・食事援助の目的・看護師の役割 援助の実際（座位・臥位）
4	非経口的栄養：目的・種類と方法 （経鼻経管栄養 経腸栄養 静脈栄養 中心静脈栄養）
5	経鼻経管栄養法：チューブ挿入の実際 技術試験デモンストレーション（経管栄養法）
6 7	経鼻経管栄養法 注入技術演習
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 新体系看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社 看護技術プラクティス 学研
成績評価の方法	排泄と併せて筆記試験
備考	排泄と併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
日常生活援助技術Ⅱ 排泄		根本 洋子		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (16)	教室・実習室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義				
学習内容・排泄	排泄の意義とメカニズム、アセスメント方法 自然排尿・排便介助法 一時的導尿・持続的導尿について 便秘のアセスメントと便秘改善の援助 ストーマケア				
到達目標・排泄	・排泄援助の基礎的知識を修得し、援助方法を理解する ・排泄援助を提供する看護師に求められる基本的姿勢を理解できる				
事前学習・排泄	排泄観察記録 排泄のメカニズム				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	・ 排泄の意義について (生物学的、心理的、社会的) ・ 排泄援助の基本的姿勢 プライバシー、自尊感情へ配慮した看護の姿勢
2	・ 排泄が成立する一連の行動 ・ 排泄の情報収集とアセスメント
3	自然排尿および自然排便の介助 ・ トイレの使用、誘導 ・ ポータブルトイレの援助 ・ 床上排泄 (尿器・便器を用いる方法) ・ おむつによる援助方法 (基礎知識、援助の実際)
4	排尿障害時の援助：一時的導尿、膀胱留置カテーテルの管理方法 排便障害時の援助：排便を促す援助と便秘改善のケア ストーマケア (肛門・尿管)
5	グリセリン浣腸・摘便 (演習) 排泄技術演習 デモンストレーション
6・7	排泄技術 演習
8	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 新体系看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社 看護技術プラクティス 学研
成績評価の方法	食事と併せて筆記試験
備考	食事と併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
日常生活援助技術Ⅲ 清潔衣生活		林 なおみ		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (30)	教室・実習室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	清潔と衣服の意義、清潔を保つ日常生活援助の方法				
到達目標	清潔と衣服の意義を理解し、清潔を保つ日常生活援助が習得できる。				
事前学習	病衣の条件、入浴・全身清拭と寝衣交換・洗髪・足浴・陰部洗浄・口腔ケアの方法				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	人間にとっての清潔の意義と衣服の意義
2	清潔援助の基礎的知識
3	患者の状態に応じた援助の方法と留意点
4	病床での衣生活の援助
5	清潔援助の方法 1) 入浴・シャワー浴・陰部洗浄・口腔ケア
6	2) 全身清拭と寝衣交換の基礎的知識と実際 (演習)
7・8	陰部洗浄の実際、足浴の実際 (演習)
9・10	全身清拭技術試験
11	3) 洗髪の基礎的知識
12	4) 口腔ケアの実際 (演習)
13・14	洗髪の技術試験
15	まとめ、終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学技術Ⅱ 医学書院 新体系看護学全書 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社 看護技術プラクティス 学研
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
ヘルスアセスメント バイタルサイン		林 なおみ		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (17)	教室・実習室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	バイタルサイン測定の意義と測定の方法と留意点				
到達目標	バイタルサイン測定の意義を理解し、正確なバイタルサイン測定ができる				
事前学習	体温・脈拍・呼吸・血圧の測定方法				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	バイタルサイン測定の意義、体温測定の方法と留意点
2	脈拍と呼吸測定の方法と留意点
3	血圧測定の方法と留意点
4	バイタルサイン測定の実際 (演習)
5	バイタルサイン測定の実際 (演習)
6	技術試験：バイタルサイン測定と報告
7	技術試験：バイタルサイン測定と報告
8	体温表の記入とアセスメント
9	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 看護技術プラクティス 学研
成績評価の方法	フィジカルアセスメントと併せて筆記試験
備考	フィジカルアセスメントと併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
ヘルスアセスメント フィジカルアセスメント		糸 ふじ代		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (28)	教室・実習室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による授業である。				
学修内容	解剖生理を理解し正常な状態、異常な状態を考察し判断する。				
到達目標	基本的なフィジカルイグザミネーションが実施でき、正常な身体状況が判断できる。				
事前学習	身体の臓器の位置、機能の理解。 (心臓 肺 肝臓 筋肉など)				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	ヘルスアセスメントの意義と目的 観察：主観的情報、客観的情報
2	専門用語 体表面の解剖学的名称、症状名 体内の臓器の位置
3	フィジカルイグザミネーションに必要な技術（視診・触診・聴診・打診） 身体計測の実際とアセスメント（身長、体重、胸囲、腹囲、握力、視力検査）
4	体表面の観察とアセスメント （皮膚、爪、指、頭髮、外眼部、リンパ節、甲状腺）
5	アセスメントに必要な知識：心臓・肺の解剖生理
6・7	フィジカルイグザミネーションの実際とアセスメント（演習） ① 呼吸器系 ②循環器系
8	アセスメントに必要な知識：門脈側副路・浮腫の解剖生理
9・10・11・12	フィジカルイグザミネーションの実際とアセスメント（演習） ③消化器系 ④運動器系 ⑤感覚器系 ⑥中枢神経系
13	事例検討：症状に必要なイグザミネーションを実施（演習・発表）
14	心理・社会的状態の観察とアセスメント 行動的側面、認知的側面 人間関係、経済的問題
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 フィジカルアセスメントガイドブック 医学書院 系統看護学講座 専門分野 解剖生理学 医学書院
成績評価の方法	バイタルサインと併せて筆記試験
備考	バイタルサインと併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
地域と暮らし		山城 歩 大庭 梨香 学内教員		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室 フィールドワーク	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	学校周辺を探索し地域を知る。地域に暮らす人々の生活の実際を見る。				
到達目標	・地域の風土・文化を知り、地域に住む人々とその暮らしを理解する ・地域の特性（強み、弱み）を理解する ・地域で暮らす様々な人たちとの話してから、思いを知る				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	暮らすということ
2・3	学校周囲の探索 小湊集落、名瀬勝集落、前勝集落、西仲勝集落周辺 ～面積・位置・人口・公共施設・学校・保育園・施設・畑・神社など～ 探索結果のまとめ、発表、ディスカッション
4・5	小湊集落に出向き、小湊集落を知る ・小湊集落について区長さんや語り部の方からの講話 ・歴史、文化、集落の特性、地域行事や取り組みなどを調べる
6・7・8・9	小湊地域づくり協力 媒体作成 小湊集落との交流・小湊集落への行事参加 (小学校の運動会、ボランティア 8月踊り 米作りなど)
10・11	小湊敬老会事前準備 メッセージカード作成と訪問 小湊敬老会（血圧測定 足湯など）
12・13	災害と暮らしについて ～小湊地域の地形や自然状況、地域性の気候などから危険性、 災害・緊急時に備えての準備や訓練など～ 調査結果のまとめ、発表、ディスカッション
14	小湊集落のまとめ・発表会 ・小湊集落の住民の人たちを交えて発表する
15	「地域の実習」にむけて 地域の特性を調べる 協同学習
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 統合分野Ⅰ 在宅看護論 医学書院
成績評価の方法	グループワークのまとめ・発表評価 テーマに沿ったレポート評価
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
暮らしを支える看護Ⅰ		根本 洋子		1年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(15)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	社会構造の変化を知り、在宅看護の目指すものを理解し、在宅看護の概念を学ぶ				
到達目標	対象者とその家族の特徴を理解し、地域包括ケアシステムの機能を学び、療養の場へ広がる看護活動を理解する。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	在宅看護の目指すもの～在宅看護の概念～ ・在宅看護の背景、在宅看護の目的と特徴
2	在宅看護の対象者の特徴 ・看護の対象の場と環境（衣食住環境、生活様式と価値観） 家族のアセスメント、支援 ・療養者を抱える家族の問題（家族のとらえ方、家族への看護）
3	在宅看護における倫理 ・療養者・家族の意向を考えての意思決定 ・在宅看護特有の倫理問題（提供者側の権利保護）
4	在宅看護における看護師の役割 ・自宅だけではない在宅看護 ・さまざまな場において地域・在宅看護で活躍している看護師の役割
5	地域包括ケアシステムを学ぶ ・その人らしく生き続けられる仕組み
6	在宅看護の提供方法 療養の場の移行
7	在宅看護の基本となるもの
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 統合分野Ⅰ 在宅看護論 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学概論		富川 佳余子		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、保健師・助産師として実務経験のある講師による講義。				
学修内容	成人とは、ライフサイクル、発達課題、成人と生活、成人と健康、成人へのアプローチ、保健・医療・福祉システムの連携、多職種連携、健康レベルに対応した看護アプローチ、家族支援				
到達目標	成人各期の特徴、成人の生活や健康に関する基礎的知識を理解する。 成人の多様な健康レベルに対応したアプローチ方法を理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	大人とは、各発達段階の特徴と発達課題（青年期）
2・3	各発達段階の特徴と発達課題（壮年期・中年期・向老期）
4	対象の生活
5	生活と健康
6	生活と健康をまもりはぐくむシステム、保健・医療・福祉システム
7	成人への看護アプローチの基本 1) 大人の健康行動の捉え方 2 行動変容を促進する看護アプローチ
8	患者と看護師の人間関係 集団アプローチ
9	チームアプローチ 看護倫理
10	看護倫理 意志決定支援 家族支援
11	成人の健康レベルに応じた看護 1) ヘルスプロモーションと看護
12	2) 健康をおびやかす要因と看護 3) 急性期にある人々への看護
13	成人の健康生活を促すための看護技術
14	療養の場の移行支援と多職種連携
15	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働省統計協会
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
老年看護学概論		中島 久代		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (30)	教室	後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	高齢社会の統計的輪郭・高齢者の健康状態 介護保険 地域包括ケア 高齢社会における権利擁護				
到達目標	老年期にある対象の特性を理解し看護の役割、機能について学習する。 わが国の高齢化問題を理解し、高齢者の家族、地域、医療福祉機関に及ぼす影響や高齢者を取り巻く環境の変革について考察する。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	高齢者の発達課題、高齢社会の統計的輪郭 フレイル
2	高齢者を知る 高齢者の生活史を理解する (ライフインタビューまとめ) 高齢者の発達課題
3	高齢者を知る 高齢者の生活史を理解する (ライフインタビューまとめ発表)
4	高齢者社会における保健医療福祉制度の変遷
5	介護保険の概要と介護予防
6	地域支援事業 地域包括ケアシステム 身近な地域での高齢者施策
7	高齢者模擬体験 (高齢者体験セット) 【実習室】
8	高齢者模擬体験の振り返り (GW) 【教室】
9	高齢社会における権利擁護 高齢者虐待
10	高齢社会における権利擁護 身体拘束
11	高齢社会における権利擁護成年後見制度・日常生活支援事業
12	高齢者の自宅の環境を整える (GW)
13	「独居・高齢の患者の在宅看護」状況設定問題 (GW)
14	老年看護の定義・特徴・役割・ICF・レスパイトケア
15	振り返り 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 新系統看護学全書 老年看護学概論・老年保健 メヂカルフレンド社
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
小児看護学概論		重 しほ子		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	2 (30)	教室	後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	子どもの特徴 子どもを取り巻く環境 倫理				
到達目標	小児看護の対象である子どもを理解する。小児看護の役割を理解する。 小児期の成長・発達を理解し小児各期の特徴を理解する。 小児を取り巻く環境、現代の家族や社会の特徴を知り家族の機能を促進させる看護を理解する。 発達段階に応じて小児が健康な生活を送るための看護を理解する。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	小児看護の目ざすところ 小児看護の対象 小児看護の目標と役割
2	小児と家族の諸統計 わが国の人口構造 出生と家族 子どもの死亡
3	小児看護の変遷 小児医療・看護の変遷
4	小児看護における倫理 子どもの権利 医療現場で起こりやすい問題点と看護
5	小児看護の課題 疾病構造の変化と小児看護 社会の変化と小児看護 小児看護の専門分化
6	障害のある子どもと家族の看護 子どもの虐待と看護
7	子どもの成長・発達 小児看護における発達論 成長・発達の進み方
8・9・10・ 11	新生児・乳児・幼児・学童・思春期・青年期 形態的・身体生理の特徴 各機能の発達 養育および看護 グループワーク プレゼンテーションの準備
12	グループごとの発表
13	家族の特徴とアセスメント 子どもと家族を取り巻く社会 児童福祉 母子保健 医療費の支援
14	予防接種 学校保健 食育 特別支援教育 臓器移植
15	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
母性看護学概論		一瀬 いつ子		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室	後期		
実務経験	本科目は、助産師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	母性看護の概念と意義、性と生殖、母性のライフサイクル、リプロダクティブヘルス/ライツ、統計、諸制度				
到達目標	母性の一生を通じた健康の維持・増進・疾病の予防を理解する				
事前学習	「母性とは」について、経験を基にレポートする。600 字数以上				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	母性とは 母子関係と家族発達
2	セクシャリティ (人間の性)、リプロダクティブヘルス/ライツ、ヘルスプロモーション
3	母性看護における倫理
4	母性看護の歴史的変遷と現状―母子統計からみた現状―
5	母性看護の対象を取り巻く環境―母子保健施策からみた現状―
6	母性看護の対象を取り巻く環境 発表・まとめ
7	生命の誕生 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化
8	母性看護における看護過程
9	女性のライフサイクルと家族 思春期・成熟期・更年期・老年期
10	ライフサイクル各期の健康問題と看護、グループワーク・まとめ
11	リプロダクティブヘルスケア―家族計画・性感染症・HIV・人工中絶
12	リプロダクティブヘルスケア―喫煙女性・性暴力・児童虐待
13	リプロダクティブヘルスケア
14	まとめ・振り返り
15	まとめ・終講テスト
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 国民衛生の動向 厚生労働統計協会
成績評価の方法	筆記試験 レポート
備考	